

添付資料: 今冬の電力需給見通しに関する報告徴収に基づく報告の概要

1. 原子力の再起動がないとした場合の需給バランス

- 各H1需要(1日最大電力)における今冬の需給バランス(供給予備率)は、以下のとおり。
- ① 2013年度(1, 2月)の実績 : (1月) 7.9% (2月) 8.7%
 - ② 定着節電を織り込み, 平年並み気温の場合 : (1月) 9.8% (2月) 10.7%
 - ③ 定着節電を織り込み, 2011年度厳寒並み気温の場合 : (1月) 7.4% (2月) 8.3%

(単位: 万kW, %)

	1月			2月			
	①	②	③	①	②	③	
H1需要	1,039	1,024	1,048	1,039	1,024	1,048	
供給力	原子力	0		0			
	火力	992		1,019			
	水力	45		49			
	揚水	99	103	103	101	105	106
	地熱・太陽光・風力	1		1			
	融通	▲12		▲35			
	新電力への供給等	▲4		▲4			
合計	1,121	1,125	1,125	1,130	1,133	1,135	
供給予備力	82	101	77	91	109	87	
供給予備率	7.9	9.8	7.4	8.7	10.7	8.3	

(注1) 定着節電は▲14万kWを織り込み。

(注2) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

2. 需要見通し

【今冬(2014年度)見通し(H1)] ※H1:1日最大電力 H3:最大3日平均電力

H1需要 (万kW)	前提および算定式等	【気温感応度】(単位: 万kW/°C)
① 1,039	・2013年度実績 2013年度のH1需要	2014年度想定 ▲15 2013年度実績 ▲15
② 1,024	・定着節電織り込み ・平年並み気温 [2014年度H3想定 1,011万kW] × [過去5年間のH1/H3比率 1.013]	【気温関連データ】 (単位: °C) 過去10年間の平均気温の平均値 2.1 2011年度厳寒の平均気温 0.2
③ 1,048	・定着節電織り込み ・2011年度厳寒並み気温 ([2014年度H3想定 1,011万kW] + [2011年度厳寒影響 24万kW]) × [過去5年間のH1/H3比率 1.013]	

【要因別影響(H3)](単位: 万kW)

・今冬(2014年度)見通し

・昨冬(2013年度)実績

2014年度対2010年度		2013年度対2010年度	
	定着節電の場合		実績
2014年度想定	1,011	2013年度実績	1,015
2010年度実績	1,061	2010年度実績	1,061
差分	▲50	差分	▲46
気温影響	▲5	気温影響	▲9
節電影響	▲14	節電影響	▲16
経済影響	▲24	経済影響	▲19
離脱影響	▲7	離脱影響	▲2